

第7回行政改革推進委員会 議事録

日時：令和4年1月27日（木）10：00～10：34

場所：村上市役所 5階 第4会議室

【出席者】

馬場委員長、村山副委員長、石黒委員、太田委員、山ノ井委員、本田委員、瀬賀委員

【欠席者】

なし

【市側】

高橋市長、東海林総務課長、五十嵐総務課行政改革推進室長、斎藤総務課係長、佐藤総務課主査

【傍聴者】

0名

【報道関係】

6社

1 開 会（10：00）

（斎藤係長）

本日はお忙しい中、行政改革推進委員会に出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから、第7回の委員会を開催いたします。日程3の報告までの間、委員会の進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日の委員会の開会にあたりまして、委員の出席状況を報告致します。委員の出席は7名で過半数を超えておりますので、委員会が成立していることを報告いたします。

なお、本日の委員会ですが、県内にまん延防止等重点措置が適用されておりまして、感染症拡大防止のためオンラインで開催をさせていただいております。また、本日は報道機関の方がいらっしゃっております。委員会の流れとしまして4番で答申、その後、委員の皆さんと市長の間で意見交換いただき、委員会が終わりましたら取材、質疑応答を受けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

2 委員長あいさつ

(斎藤係長)

日程2、委員長あいさつになります。馬場委員長よろしくお願ひいたします。

(委員長)

おはようございます。今日は答申まで至りました。皆さんの活発なご議論に感謝を申し上げたいと思います。今日は、市長さんに答申を手渡した後で皆さんから2、3分、この答申に至ったところでいろいろな思いがあるかと思ひますのでお話しいただければと思ひております。それでは議事に入つて行きたいと思ひます。

(斎藤係長)

条例第5条の規定によりまして、議長の方を委員長に願ひします。

3 報告

(委員長)

次第3、報告事項について、事務局からご説明を願ひします。

(斎藤係長)

第6回の委員会でご協議いただきました答申につきまして、委員の皆さんには再度ご確認をいただき、本日の答申となったことを報告いたします。

(委員長)

ありがとうございました。今のご説明についてご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。そういたしましたら答申に入りたいと思ひます。村上市行政改革大綱2022(案)の答申について、事務局からご説明をいただきたいと思ひます。

4 答申

(斎藤係長)

委員会の慎重審議により答申がまとまりましたので、オンラインになりますが、委員長より答申を願ひしたいと思ひます。

(委員長)

それでは、答申を読み上げさせていただいて、手渡しというわけにはいきませんが、市長さんにお渡しするという形を取りたいと思います。

令和4年1月27日。村上市長高橋邦芳様。村上市行政改革推進委員会委員長馬場健。村上市行政改革大綱の策定について答申。

令和3年7月26日付け、村総第431号で諮問のありました村上市行政改革大綱の策定について、本委員会において慎重審議の結果、別紙の原案として答申します。なお、本委員会における意見及び要望等について、今後の行政改革の実施に際してその方向性とすべき事項として付記しますので、十分ご留意いただくよう切に要望します。

附帯意見等 「あふれる笑顔のまち村上」をまちの将来像とする第3次村上市総合計画を踏まえて策定された村上市行政改革大綱2022原案は、「持続するまち」であり続けるという理念を掲げ、安定した財政運営を基盤とした、「行政サービスの改善と向上」、「公共施設の適正管理」及び「効率的な行政組織」を重点施策として位置付け、減量経営を行うべきところは行い、充実すべきところは充実させるという本来の意味での行政改革を着実に進めるための大綱として策定しました。したがって、本委員会での審議過程において出された意見及び要望等については、その趣旨をできる限り尊重して行政改革を推進し、安心して子どもを産み育てることができ、そして市民がいきいきと暮らし続けることができる村上市の創造に取り組んでください。

それでは市長さんに手渡したという形を取りたいと思います。

(オンラインで答申書)

それでは、事務局よろしく願いいたします。

(斎藤係長)

分かりました。市長から一言お願いいたします。

(市長)

皆さん、改めましておはようございます。本市にとりまして最重要の考え方をまとめていただくということで、昨年諮問させていただきましたが、本当に皆さんに精神誠意力を尽くしていただいて今回答申をいただくことになりました。心より感謝を申し上げたいと思います。

この中で、附帯としていただきましたご意見の中に、安定した財政運営を基盤とすること、これがまず掲げられております。その上で行政サービスの改善と向上、公共施設の適正管理、そして効率的な行政組織、これをしっかりと作り上げることによって、持続する、市民が生き生きと輝けるまちが作り上げられるというところまでご意見をいただいたところでもあります。本市におきましても攻めるべきところは攻めていく、守るべきところは守っていく、こういったメリハリの利いた行政運営をしっかりと進めるということで、現在、第3次の総合計画をまとめ上げているところでございます。まさに、この第3次総合計画をしっかりと進める上においても非常に重要な考え方を今回お示しいただいたと思っておりますので、今回の大綱を肝に銘じてしっかりと全庁一丸となって取り組んで行き、その先に市民の

豊かなあふれる笑顔をたくさん広げることができるよう頑張っ参りたいと思っております。厳しいスケジュール、環境の中ではありましたが、皆様方から本当にお力をいただきました。私からは心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(委員長)

それでは、先ほどお願いをしましており、各委員の皆さんから大綱への思いを市長さんに伝えていただければと思っております。委員名簿が大綱の一番後ろ側についております。その順番でお願いできればと思います。村山さんからお願いできますでしょうか。

(村山委員)

行財政改革についての5つのテーマに意見出しするところからこの委員会が始まりましたが、大変難しい問題で、村上市の状況も分かっている、でもやっぱりこうして欲しいという意見も出していかねばならないという中で出来上がりました。なかなか難しい点もあると思いますが、出来る限り大綱が役に立って、少しでも良い村上市になることを期待しております。ぜひよろしくお願ひいたします。

(委員長)

ありがとうございました。そうしましたら、石黒さんお願いします。

(石黒委員)

こちらの行政改革委員会は、限られた時間ということでございましたが、最初、いろんな意見出しの中からどういう形にまとまっていくのかと思いましたが、最終的にこういった形で大綱が出来ましたことに微力ながら本当に嬉しく思っております。この大綱は作って終わりということはないと思いますので、今後、これどうやって実現していくかということになるかと思ひます。行政サービスの改善と向上とか、自治体DXの推進とか、あるいは公共施設の効率的な管理とか、こういった面について、今後我々民間としてもいろいろ力になれることがあると思ひますので、引き続きよろしくお願ひいたします。以上です。

(委員長)

ありがとうございました。太田さんお願いできますでしょうか。

(太田委員)

高橋市長、コロナ禍でお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。委員会が7回開催され、皆さんが意見を出し合っ村上市を良くしたいという思いの中でいろんな意見が出たということで、高橋市長にはこの答申を尊重いただいて、村上市は少子高齢化のスピードが速いと思ひますので、この答申のとおり尊重して進めていただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(委員長)

ありがとうございました。次に山ノ井さんお願いできますでしょうか。

(山ノ井委員)

皆さんおっしゃったとおりですけれども、私もこういった委員会に初めて参加させていただいて、最初はいろいろ戸惑いがありました。委員会を重ねるうちに皆さんで活発な意見を出し合って、このような素晴らしいものができたと思っております。村上市の課題はたくさんあるかと思いますが、私はまだ40代で、若手で子供は小さいんですけれども、子育てしていく中で色々な課題もございます。これから、市長には先頭を切っていただいて、これを上手く利用し、村上市をより良くしていただきたいと思います。高橋市長の今後のリーダーシップに期待しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございました。続きまして本田さんをお願いしたいと思います。

(本田委員)

このたびは委員として参加させていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。市報1月号の、市長さんが市内で活躍する女性の方々との対談を大変興味深く拝読致しました。その中でも、問題提起されておりました子育てするには問題が色々ある、遊び場が少ないということもございました。この答申の中でも附帯意見として出されております「安心して子供が産み育てられる」、「市民が生き生きと暮らしていける」、ぜひそういった市にしたいという思いは全員同じでありますので、そのところを汲み取っていただいて市政に活かしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございました。瀬賀さんお願いできますでしょうか。

(瀬賀委員)

まずもって今回の委員会開催にあたって、馬場委員長さん、村山副委員長さん、各委員の皆さん方、それからご担当された課の職員の皆様方、本当にご苦労様でした。市長におかれましては、今、コロナウイルスという目に見えない難敵に立ち向かっておられる最中でございますが、ぜひ今回の答申をよくご審議いただいて、市民に優しく風通しの良い行財政運営に取り組んでいただけたらありがたいと思っております。これからの村上市の更なる発展を心からご祈念を申し上げます。最後になりますが、今日皆さん方のマスクを取ったフルフェース初めて拝見いたしました。とても良かったです。ありがとうございます。

(委員長)

ありがとうございました。最後に僕から少しだけお話をさせていただければと思います。ここに集っていただいたメンバーの方々のお力添えでここまでまとめることができました。感謝を申し上げたいと思っております。最初にもお話ししたように、僕は村上市民ではないので言い方がすごく悪いんですけど他人事なんです。他人事だから言えることもあって、外から見ていると冷静に見ることができる部分もあるので、そういう知見をここに反映できればよかったかな、上手くいっているかどうか心許ないところ

ろではありますけれども、そうだったらいいなと思っています。

行政改革はここ1、2年で何かできるってものではなくて、10年経ってみて、さてどうだったんだろうかっていうことで計るしかない、短期で見てもいけないものだろうと考えています。従いまして、できるところからゆっくりと、といっても時間が限られているとはいうものの、早急にやらずに10年経ったところで変わったというような改革が行われたらいいのではないかと考えているところです。市長さん、この後も大変なご苦労されるかと思いますが、ここに集った皆さんも、いろいろな思いがあるかと思いますが、村上市を盛り立てていただければと思っています。本当にありがとうございました。それでは、事務局にお返したいと思っています。

(市長)

馬場委員長、本当にありがとうございました。そして各委員の皆さんから活発なご意見が出たというコメントをいただいて、この推進委員会の運営が活発に行われたものと改めて感じるところでありますが、やはり、いろんな物事を考えて頭の中で考えるのが皆さんは非常に優れていると思うんです。それを声に出して、表に出してテーブルの上に乗せて議論するということが非常に重要だと思います。そのような形の中でまとめ上げられたということで、非常に有意義だと思います。

あと、今いくつか注目すべきご指摘をいただいたと思っています。村上市でも自治体DXという形で、そのDXを進めることによって我々の生活が豊かになるという視点で、今さまざまな分野で取組をスタートしようとしています。そんなところへのご指摘をいただいたんですが、それと同時にそうする上において、今、市が持っている公共施設を含めた様々な行政コスト、ここの部分をどういう形で整理整頓していくのか両面で対応しなければならないということで進めているんですが、その点のご指摘もいただきました。それと、中長期的な流れの中でやっぱり子育てですね。子供たちが、自由に、活発に、のびのびと生活できる環境で、その為に働く場所があったり、子供たちが育っていく環境があったり、そういったことを両立させるための働き方に対して、若い世代のお父さん、お母さんに対する支援策、また、ハードとしては保育園であったり医療関係だったり、そういうものが充実しているところ、子育てが上手くいっているところは結果として人口の減少に歯止めがかかり、高齢者も生き生きとして生活できているところがあります。ともすると全部を公平にしようと考えがちですが、そういう形でターゲットになるところをしっかりと見定め、そこはしっかりと作り上げていくことによって、市全体、各世代全体が豊かになっていくという方向性を目指すことができるんだろう。おそらく成功事例がいっぱいあると思いますので、そんなところを考えている最中ではあります。

今回、本田さんの方からお話のあった1月の広報に載った女性起業家、若い世代の女性起業家はエネルギーに活躍されています。これがしっかりと市民の生活の潤いに繋がっていくところまで昇華させていければ非常にいいなあと考えて、これから継続してやっていこうという話をさせていただいているところですが、それを踏まえた上で子育てしやすい地域社会、ここがキーワードだと思っています。第3次総合計画にも、そこを前面に打ち出すような形になりますので、令和4年度にスタートしますが、予算編成においてもそこに力を入れていくという形になります。今回大綱として答申をいただいた内容を含めて、その意を踏まえた形で、なんとかスタートさせることができるんじゃないかなと思っていますが、そこは非常にありがたいなと思っています。

馬場先生の方から、1、2年でできることではないという励ましという言葉として受け止めさせていただ

きたいと思っておりますが、ある程度のスパン、10年間で成果を指標として検証していく、これは重要な点だと思います。それと同時に、我々行政を担う側としては、やはり足元の政策をしっかりと進めていく。この積み重ねが10年後のあふれる笑顔に繋がっていくことを意識していかなければならないと思っております。そうした中で、何人かの委員の皆さんからお話のありましたコロナ禍というのが、災害もそうなんですけど、災害はある程度経験しながら教訓に基づいて対応できる、またそれに備えることができているんですが、この我々がこれまで遭遇したことのない未知との戦いのために行政を運営する上においても非常にダメージが大きい。こういうところが、3年目に入るわけですが、この中に色々な戦い方も我々は見出していますので、そのところも含めて足元をしっかりと支えながら、将来に向けての村上市のあり様、ある姿、そこに生活する市民の皆さんの生き生きとした姿をイメージしながら、しっかりと進めていきたいと思っております。

それと、今後この大綱を我々はしっかりとマニュアルとして、これに基づいて進めることになると思っておりますが、やはり今ほど申し上げましたけれども、足元、今まさにやらなければならないことも含めてしっかりと進行管理をしていかなければならないと思っておりますので、そのところを含めて皆様方からお力をいただきながら歩みを止めずに、ここに記載していただいた一つ一つを大切に読み取りながら進めていきたいと思っております。改めて申し上げますけれども、皆様のお力に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

5 次回委員会の開催について

(委員長)

ありがとうございました。続きまして、次回委員会の開催日程について、事務局からご説明をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(斎藤係長)

それでは、次回の開催日程についてご説明いたします。今年度の委員会につきましては本日の委員会をもって終了になります。次年度、令和4年度の委員会は、開催時期、回数等につきまして、委員長さんと協議させていただきながら、大綱に基づく事業レビューによる進捗報告など、様々な取組を進めていく必要があると考えておりますので、委員の皆様におかれましては市政に対してご協力の方よろしくお願ひしたいと思ひます。以上になります。

(委員長)

はい、ありがとうございました。これについて何か委員の皆さんからご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。市長さんお願ひします。

(市長)

皆様方には先ほど申し上げましたけれども、進行管理、この部分がこれから非常に重要になると思ひます。コロナ禍で我々が対応しなければならないもの、大幅に変わったりするわけです。そのよう

な時に行政改革をどのように進めていくのかということを非常に我々も悩みますので、ぜひ皆様方からその進行管理と同時に我々の姿を引き続き、叱咤激励を含めて見ていただけるような、そういうつながりをこれからも継続させていただきたいと思います。大変だと思いますが、何卒よろしく願います。

6 その他

(委員長)

ありがとうございました。そういたしましたら、次第6、その他ですが、何かございますでしょうか。事務局願います。

(斎藤係長)

こちらの大綱ですが、本日の委員会の方から答申をいただきましたので、2月1日に庁内の行財政改革推進本部会議に諮りまして決定するという流れになります。そこで決定を受けましたら印刷を致しまして、3月下旬をめどに総合計画と合わせてお配りしたいと考えておりますので、よろしく願います。以上になります。

7 閉会

(委員長)

ありがとうございました。そういたしましたら本日予定していた内容をすべて終了いたしました。閉会の挨拶を副委員長の村山さんからお願いできればと思います。よろしく願います。

(村山委員)

先ほども申しましたが、委員の皆さまから出された本当に様々な意見を委員長に整理整頓していただいて、道筋をつけていただきました。本当であれば、グループワークなどでもっと意見を揉んでいくような機会があればよかったのかもしれませんが、コロナ禍で膝をつき合わせてというわけにもいなくて、委員長や事務局の皆様には大変ご負担をかけたのではないかと感じております。また、大綱に載せることのできなかった意見も答申に加えていただいたことで、委員の意見が全部含まれた大綱になったんだなあと感じております。

この大綱によって、行政改革が良い方向に進んでいくことを期待しております。また、来年度進捗状況なども聞かせていただけるということでしたので、今まで一生懸命考えて勉強させていただいたことも忘れずに、村上市を見守っていきたいなと思っております。色々とお世話かけました。ありがとうございました。

(委員長)

はい、ありがとうございました。それではこれで、本日の会議を終了とさせていただきたいと思えます。おつかれさまでした。

閉会（10：34）